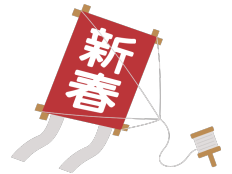




第84回月例研究会

「健康寿命延伸におけるヘルスケアと温泉」



- 共催：一般財団法人日本健康開発財団 特定非営利活動法人日本スパ振興協会
非営利団体地域活性学会 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム
- 併催：温泉療法医認定研修プログラム（1単位）（予定）
- 日時：2019年1月22日（火）13：30～16：45 受付 13:00～
- 会場：東京文化会館4階大会議室（JR上野駅公園口前）定員：70名（申し込み先着順）
- 参加費 2,000円（会員：地域活性学会、日本健康開発財団、日本スパ振興協会、温泉療法医会、チーム新・湯治、健康と温泉フォーラム）
3,000円（一般参加者）無料（学生・報道）
- セッションテーマ 「健康寿命延伸におけるヘルスケアと温泉」
- 講師 宮下大典（経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課係長）



【経歴】

経済産業省ヘルスケア産業課で、生涯現役社会の構築を目指し、地域におけるヘルスケアビジネスの実証事業や、ヘルスケアサービスの普及に関するガイドラインの作成等、ヘルスケア産業に関わる事業環境の整備業務に従事。

■ 講演要旨

我が国の平均寿命は男女ともに80歳を超えており、人類が理想としてきた長寿国をいち早く実現したと言える。しかしながら、平均寿命と健康寿命の差は、男女ともに10年前後は健康に不安を感じながら過ごしている現実がある。

平均寿命が今後も伸びていくことが予想される中、高齢となっても健康な状態を維持していくためには、現役時代から生活習慣に配慮できる環境づくりと、個人の健康維持・増進を支える製品・サービスの創出が必要。また、年退職後も社会参加を継続しながら最期まで自分らしく生き抜くことのできる「生涯現役社会」を実現するために、仕事やボランティア等の社会活動を通して地域社会に貢献する機会の創出が求められている。加えて、加齢等により公的な医療・介護が必要になった後も、最後まで自分らしく生きることが出来る環境とそのためのサービスが今後ますます必要になる。

温泉活用を含む地域におけるヘルスケア産業の創出には、自治体や事業者、学術・研究機関、医療・介護関係者等との連携が重要であり、全国41か所で設立されている地域版次世代ヘルスケア産業協議会*）を軸としてこうした連携が進みつつある。

また、利用者が安心してヘルスケアサービスを活用できる環境整備が必要であり、経済産業省としても適切なヘルスケアサービスの流通構造の構築のために、業界団体等を対象とした「ヘルスケアサービスガイドラインのあり方」の検討を進めている。

地域資源を活用しつつ適切なヘルスケアサービスを創出することで、地域の身体的な健康と経済の健康を同時に実現していく。

備考 *）www.meti.go.jp/.../healthcare/180531tiikibankyogikai-list.pdf



E-mail info@onsen-forum.jp Fax 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書（各□に✓をお願いします）

☐ 第84回月例研究会（2019年1月22日（火））に出席します。

●お名前（複数可）

・

・

●所属会員 ☐ 健康と温泉フォーラム ☐ 地域活性学会
☐ 日本スパ振興協会 ☐ 日本健康開発財団
☐ 温泉療法医会 ☐ チーム新・湯治
☐ その他

●団体・組織名

●住所 〒

●連絡先 TEL

FAX

E-mail

携帯☎

●お問い合わせ 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム
電話/FAX 03-6804-8575 E-mail info@onsen-forum.jp



-今後の予定-

第85回月例研究会「認知症と温泉一日独温泉共同研究の推進」（仮題）

- ・日時 平成31年2月14日（木）1330~1645 受付1300~
- ・会場 東京文化会館4階会議室（上野駅JR公園口正面）（定員40名：申し込み先着順）
- ・講師 Prof.Dr. med. Johaness Naumann（ドイツフライブルグ大学温泉療法医）

第86回月例研究会「健康と温泉ニューウエーブ2019」（仮題）

- ・日時 平成31年3月末 1330~1645 受付1300~（日程調整中）
- ・会場 東京文化会館4階会議室（上野駅JR公園口正面）
- ・講師 新進気鋭の関係産業・事業の代表者数名（調整中）